



＜フィリピン・リサーチ・レポート＞

情報提供用資料

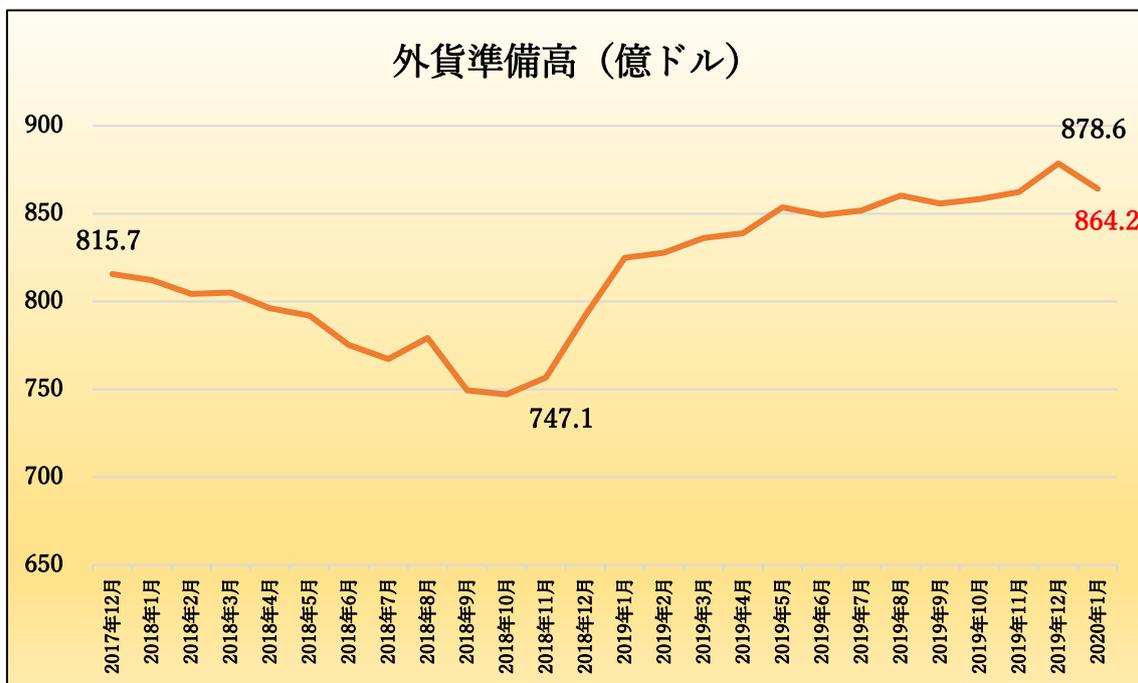
2020年2月12日

フィリピンの1月外貨準備高 4か月ぶり減少

フィリピン中央銀行(BSP)は、2020年1月の同国総外貨準備高(速報値)は約864.2億ドル(約9.5兆円)であると発表した。4か月ぶりの減少となった。

内訳は海外投資739.7億ドルで全体の約85%。その他金保有額80.2億ドル、外国為替26.7億ドル、国際通貨基金(IMF)の特別引出権(SDR)11.8億ドル。前月比で、海外投資と外国為替がやや減少した。

同国の外貨準備高は、輸入の7.6か月分、短期対外債務(元本ベースの短期負債)の5.3倍に相当しており、十分な流動性を確保している。



出所: BSP

以上